

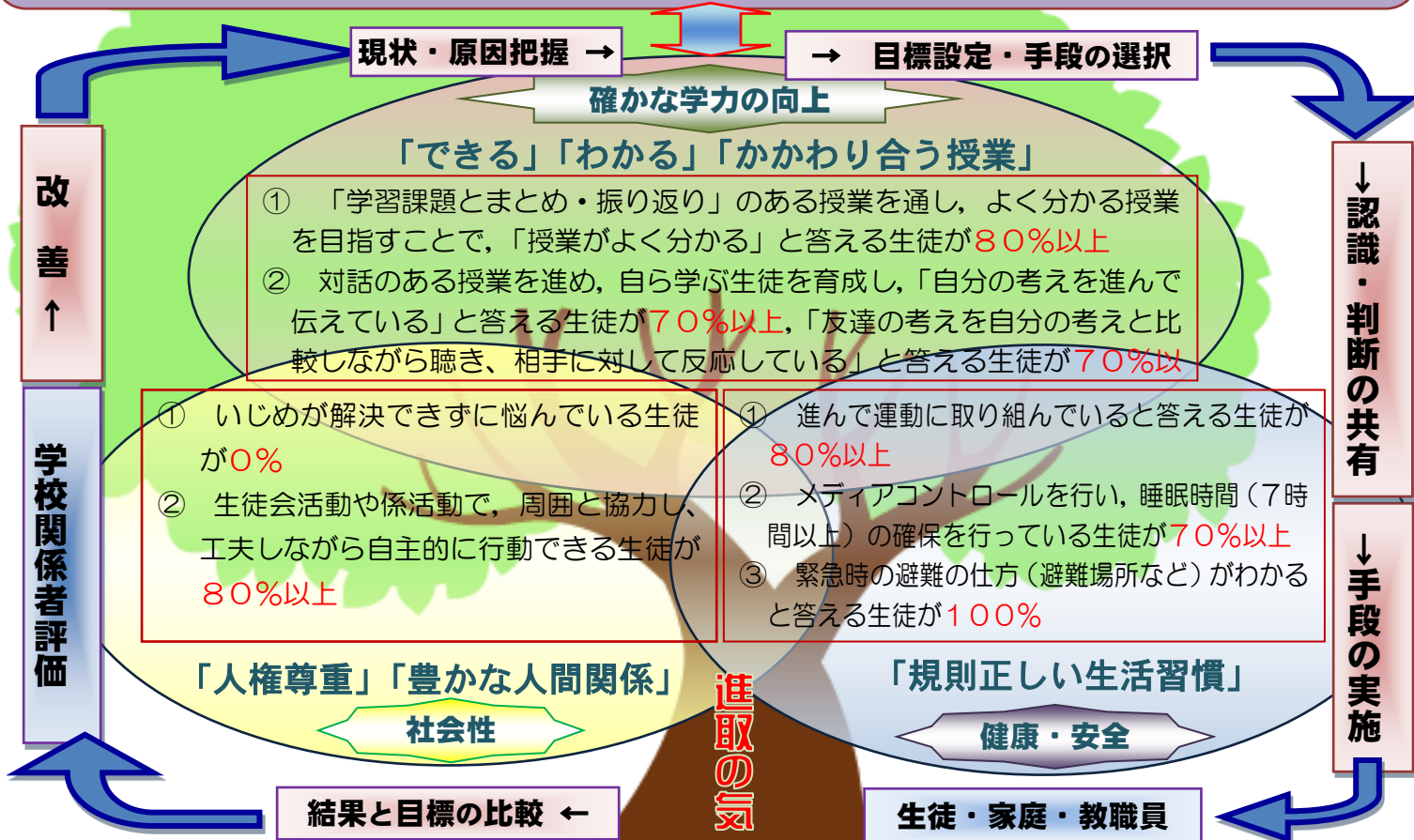
# 令和3年度 新潟市立中野小屋中学校教育ビジョン

教育目標 豊かな知性と心情をもち 強い心身をそなえた生徒

令和3年度重点目標 自ら考えを伝え、高め合い、新しい社会を創り上げる中・中学生の育成

運営の柱 つきたい資質・能力の共通理解 各授業、各行事のねらいを明確に

- 1 協働：仲間へ働き掛け、協働してやりぬく      2 創造：主体的に判断し、将来設計をしていく  
3 課題解決：課題を発見し、情報を集め、見通しをもって解決する      4 自主：自己の役割を理解し、行動する



特別な教育的支援 「インクルーシブ教育システムの推進」

- ① 職員アンケートにより、「授業の流れの可視化、板書の工夫、教具やICTの活用、シンプルな指示と助言」の実施率90%以上  
② 「個別の支援計画」について、職員及び当該保護者へのアンケートによる長期目標の達成状況が70%以上

支持的風土の醸成 「基盤となる支持的風土の醸成」

- ① やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあると感じる生徒が80%以上  
② 友達のよいところを見つけたり、自分が認められていると感じたりすることができる生徒が80%以上

研修主題 「自ら考えを伝え合い、練り上げ、活用していくことができる生徒の育成」

小中一貫教育言語活動を中心とした「中・中学び合いスタンダード10」の構築と実践

- 教職員像
- 1 「授業改革」（主体的・対話的で深い学び、ICT活用）に挑む教師
  - 2 尊い命と人権を尊重し、生徒に寄り添う教職員
  - 3 小学校・地域の人材・専門機関と連携した教育活動を行う教職員
  - 4 協働して支え合いやりぬく教職員